

竜の子新聞

特別号

市政報告

発行 あらき竜二

倉敷市日吉町 476-4

TEL: 086-422-7747

FAX: 086-441-5377

✉: info@ryu2.biz

http://www.ryu2.biz/

謹賀新年



明けまして
おめでとう
ございます



二〇二三年の年頭に
当たり、謹んで新年の
ご挨拶を申し上げます

昨年も新型コロナウイルスがお
さまらず、まん延防止等重点
措置が発令されるなど厳しい状
況が続きました。一方で、ワク
チンの接種が進み、経済活動が
再開するなど、明るい兆しも見
えてきました。

これからコロナと共に過す
Withコロナをどのように受け
入れ、対応していくかが問われ
ていると思います。

「南海トラフ」

二〇二二年一月、新たに四十年
以内の発生率が90%に引き上
げられ、かなりの高い確率で巨
大地震が起ることが発表され
ました。

南海トラフ地震はプレートにひ
ずみが貯まり、跳ね上がって発
生する地震のことです。

現在、注目されているひずみは
2か所、愛知県沖と四国沖。恐
ろしいことに四国沖のひずみが
大きくなっており注意が必要で
す。万が一、四国沖で発生した
場合、3.11より大きな地震に
なると言われ、倉敷市でも震度
6が想定されています。

公開されている県の被害想定は
津波や地震による倒壊などで、
死者は最大3千人超に上るとさ
れています。岡山県議会では
従来の被害想定的大幅な見直
しを検討し、再推計する方針が
決定しています。

また液状化現象も想定され、
県内陸部でも浸水することも考
えられています。液状化とは地
表に地下水が近い地盤などで、
振動によって液状になる現象で
す。倉敷市では南海トラフ巨大
地震を想定した「津波ハザード
マップ」を作成していて、震度分
布、液状化危険度などを公表
しています。被害を最小限にす
るためにもぜひマップを活用して
ほしいと願います。

保存版

わが家の 津波ハザードマップ

南海トラフ巨大地震想定
ハザードマップで避難場所などを確認しておき、
地震が発生したら津波の到達する前に「より早く、
より高い場所へ避難」してください。

■ハザードマップの内容
津波から命を守るために・・・1
南海トラフ巨大地震が起きたら・・・2
東日本大震災の教訓に学ぶ・・・3
避難場所の・・・4
液状化危険度の確認・・・5
津波ハザードマップ・・・6
日ごとの備えをしましょう・・・7

倉敷市
平成29年8月作成

どうか家族や地域の皆様で避難
について話し合ってください。『て
んでんこ』での避難や、連絡方
法や集合場所などを決めておく
ことが大切です。
話し合うことが準備が出来る、
それが「減災意識」となり、被
害を最小限に抑える大きな力と
なるはずです。
※てんでんこ…各自でてんでんバラ
バラに逃げなさい。三陸地方の
言い伝え。

身近にいる人と
力を合せてできること

- 参加型の防災訓練
- 災害対策マニュアル
の作成

自分でできること

- 防災グッズの用意
- 家具類の固定

家族でできること

- 災害時の連絡方法
の確認
- 災害時の役割を確認

「東北二〇二三」

震災から12年経ちました。ボランティアとして初めて震災の地に立ち、あまりの被害になすすべがなく立ち尽くしたことが、涙が止まらなかったことは今も心にはつきりと覚えています。

写真は現在の岩手県陸前高田市の「奇跡の一本松」です。

津波で7万本が流されてしまいましたが、この松の木が唯一耐え残ったのです。

今もモニメントとして保存されていますが、その周りを小さな松が複数生えている様子が映っています。

これは地元の方々が十二年かけて、接ぎ木をして育てあげたそうです。当時、泣いているように見えた松が仲間に加われて笑っているように見えます。



▲ 奇跡の一本松

「地域支援と学童保育」

もう10年以上になります。「放課後子ども教室」を地域の皆様と小学校の支援として行っています。

ドッチボール・バスケットボール・ソフトボール・護身術・英語・硬筆・瓦コスター・プログラミング・工作・料理などの教室があり、特に人気なのはプログラミングです。

たまに見学に行くのですが、よくわからない。難しそうです。時代ですね。

私自身も少林寺拳法を使った護身術教室をさせていたでいます。胴着に着替え、基本の技を子どもたちに教えています。最初は大きな声を出す練習から。大きな声を出すのは意外と大変です。そして子どもたちは1年かけて型を覚え、様

になつてきます。女の子が見事なケリを決めたり、男の子がかっこいい突きをする。

その成長が嬉しい。そして私の息子もソフトボールを教えています。キャッチボールをしたり、ノックをしたり。ボールを握ることも初めてだという子どもたちがミットにいい音をさせてキャッチボールをしている姿を見ると、その上達の速さに息子と共に驚いています。

また放課後預かりの「放課後児童クラブ」の運営に携わっています。私たちは親しみを込めて、「亀の子」と呼んでいます。これから子どもたちが元気で明るく成長していく手助けをしたい、地域の方々を力と力を合わせて協力をしていきたいと思っています。

二〇二三年の「竜の子新聞」から息子の意見を掲載させていただこうと思います。

若い世代はどう思っているのだろう。息子によく尋ねるのですがなんともしつきりしない言葉にイライラ。じゃあ書いてくれ。半ば強引にスタートしました。私と共に見守っていただけとありがたい。よろしく願います。

「世代の目」

父から「若い世代の意見」をよく聞かれますが、難しくよくわかりません。

知らないことは言えず、政治と生活を合わせて考える習慣がありません。わからないので、わからないというのが今の気持ちです。

それでも最近、疑問に思うことが増えてきました。

父からそれを気軽に書いてみればと言われ、生意気かなと思いつつ、ペンを取らせていただきました。



▲ 豊島壇山（だんざん）展望台

私の仕事は建築関係、施工管理です。去年は豊島に仕事で通いました。

前もつて、豊島のことはWebで調べて行きましたが、産業廃棄物事件で全国的に有名になったとは思えないほど綺麗な島でした。

島の最高峰である壇山（だんざん）に登ると、高松や小豆島、直島が一望でき、のんびりすることができました。

豊島が県や国を相手に何十年も戦ったと聞きます。まさに政治の悪い面・良い面があり、政治の怖さにちよつと引きながら、今の私にできることを考えながら生活していきたいと思っています。